

第64回BCP維持管理研究会 議事録

1. 日次： 2016年5月26日（木）15:00-18:00
2. 場所： BCA0 神田オフィス
3. 出席者（敬称略）11名
中谷、小田、國貞、澤田、高桑、高橋、種子、幡谷、柳谷、吉田、守護（記）
4. 内容
 - (1) BCP維持管理研究会活動報告（2015年度） 中谷座長
 - ① 活動メンバ（登録者38名）
 - ② 活動の目的 B C M推進者として、組織（自社）の危機対応能力の向上を図る。
 - ③ 2015年度活動実績
 - ④ 主な活動結果 演習の実施、被災地（南相馬市）の視察、エフサス様 施設見学
 - ⑤ 2016年度活動方針、活動計画（予定）
 - (2) 熊本地震対応報告 S Gホールディングス株式会社 幡谷さん
 - ① グループ全体での支援参加者5,152名
 - ② 緊急対策本部（東京）を立上げ
 - ③ 自治体の依頼による自衛隊との支援物資配送センター共同運営
自衛隊：配送センターへの入庫・出庫
佐川急便：センター内での仕分け、ピッキング
 - ④ 競合他社の被災時の競合他社の代替サービス実施
 - (3) 首都直下型地震に対応する演習
ファシリテータ：柳谷さん 守護

<演習シナリオと目的>

港区に本社を置く会社が首都直下型大規模地震を被災し、本社機能一時停止、首都圏の調達先も被災、物流寸断等の生産・販売を阻害する問題が発生。

全国の製造拠点の被害が微少または被災していなくても、会社としての影響度を最小限にと止めるために、本社として最小限維持すべき機能は何かについて考える機会とする。

シナリオは地震発生前のBCP事前確認、首都直下大規模地震発生、復興プランの3段階に分けて進行。参加者は、2グループに別れ本社緊急対策本部メンバーとして対応策を各々検討し発表して頂いた。

<参加者の感想>

① シナリオについて

- ・地震対応のBCPを検討するならば、平日昼間、休祭日、夜間と分けて状況に応じた計画を策定することとなるが、今回シナリオは状況分けの配慮が足りない。
- ・インシデントが発生し調達先が被災し、調達先の部材の供給がストップしたとのシナリオは理解できたが半導体の知識が不足しており対象の会社を十分にイメージすることができなかった。
- ・ファシリテータの説明だけでは対象の会社をイメージできなかった。
- ・少々判りづらかった。
- ・製造系のシナリオを検討できて良かった。

② 訓練の目的とシナリオの合致について

- ・訓練の目的に対して、一応ふさわしいシナリオだったと思う。
- ・社内向け演習を検討するのが最終目的であったならば現実的で悪くなかったと思う。

③ 本社から他拠点への権限委譲

- ・本社での緊急対策本部におけるトップ不在時の次順位者などを定めているが、本社以外の拠点への権限委譲は考えていない。
- ・被災時に営業に権限委譲した例があります。
- ・コーポレート機能は支社代替が可
- ・通常業務とは外れ、緊急時のBCPにしか定めない権限委譲は定めていません。
- ・本社の緊急対策本部は当初から二重化（A京都、B東京）されており、BCPでは状況に応じてA→Bに切り替える。更には、震災の程度、場所に応じて隣接府県にサブの緊急対策本部を置くことも考えている。

④ グループ内の検討時間、発表時間の配分について

- ・短いと感じるものとそうでないものがありました。
- ・検討中についで脱線してしまうことがあったので、ファシリテータは様子を見て話しかけに行く（本論にもどす）ことが必要かと思います。
- ・短かったです。

⑤ 総括（改善点等）

- ・前提条件の説明、資料にもう少し時間をかけては如何か。
- ・今回の進め方は通常とは異なっており、基本をベースに展開したほうが議論を展開できたのでは。
- ・一度に検討すべき設問の組み合わせに意味を感じられないものがあった。
- ・簡単なBCPを配布したほうが良い（会社の事業継続計画、業務のプライオリティ等の提示）
- ・他の会社の方の意見・知識を吸収することができる貴重な機会となった。
- ・ファシリテータが間に入って考えながら進行していくやり方は分かりやすかったです。

<ファシリテータの感想>

- ・シナリオ進行予定表では、参加者に企業情報をしっかり理解頂いた上でシナリオを進める予定にはしていたが、スタート時間の遅れから最初の説明を省略してしまうというミスをした。また、演習参加者にはメーカー以外の方も多ということへの配慮が足りなかった。社内向け演習について考えた場合、社内の現実とかけ離れて簡略化してしまうとその点ばかりに目が行ってしまい、ファシリテータの意図した方向に議論が行ってしまうリスクもありますので、これらの良し悪しを良く考えてのシナリオ設定が重要と思いました。
- ・これまで演習は何度も参加しておりましたが、いざ演習を計画するとなるといくつものパラメータに配慮が必要となりファシリテータの、準備の大変さがわかりました。シナリオ進行に先だって事前情報を配布しましたが、情報を出し過ぎても参加者の混乱を招いてしまい、タイムリーな情報提示も演習をスムーズに進めるには大事な要素と感じました。計画段階で考えていたよりも時間が不足となる傾向にあったため、もう少し余裕をもった時間配分が出来るようポイントを絞った設問の構成にした方が良かったと思いました。

以上